

子どもの笑顔と未来のために！『きたかみ子どもフェスタ』

○エントリー団体

きたかみ子どもフェスタ実行委員会

※多様な主体のコラボにより事業を実施

○コラボメンバー(役割分担)

各ブース展示・ワークショップ・マルシェ出店者の皆さん:イベント出展

専修大学北上福祉教育専門学校:学生ボランティアの参加

北上市:会場費補助・施設開放・イベント出展・広報



○事業への思い・解決したい課題

北上市が安心して子どもを生むことができ、子育てを今以上に楽しいと感じられる街になることを目指しています。子どもは無限の可能性を秘めており、その子が何を“好き”になるのか、どんなものにはまるのか、いろいろな体験を通して見つけていくものだと思います。しかしながら忙しく子育てをする中ではいつも同じようなところに出かけたり、おうちで動画やTVを見せたりとどうしても体験する幅が狭くなりがちです。また、子育てに関する情報は多く、日々子育てに追われていると情報の取捨選択が難しく、本当に必要な情報が行き届かないことが課題だと感じています。もっともっといろいろな体験ができれば子どもの可能性が広がり、その子なりの“好き”を見つけれられるかもしれないのに、保護者は忙しく、連れて行ってあげられない、情報が届かない、そんな状況を改善していきたいと考えています。

○コラボの経緯

きっかけは、2022年開催の「みらい想像マルシェ」の後に実施された「次のイベントを考える会」です。そのとき参加したメンバーが中心となり、趣旨に賛同するメンバーがさらに集まり、「きたかみ子どもフェスタ実行委員会」を結成しました。全員が子育て中のママ、パパであり、ミーティングは子どもを寝かしつけた後にオンラインでイベント会社等に発注するのではなく、有志が協力しながら手探りで立ち上げていきました。

開催にあたり、30を超える事業者、アーティスト、市民活動団体、行政の皆さんにプログラムを提供していただき、子どもの可能性をひろげること、親同士が学びあう機会を創っていただいています。

また専修大学北上福祉教育専門学校の学生さんに当日の運営スタッフとして携わっていただいております。子どもや保護者と関わる経験が将来につながり、北上では「こんなに楽しく子育てができる」ということをしてもらいたいという狙いがあり、協力を依頼しました。毎年20名ほど参加していただき、主体的に子どもと関わり、ステージでダンスを披露するなど運営には欠かせない存在となっています。

○具体的な取り組み内容

2023年、2024年とhoKkoで「きたかみ子どもフェスタ」を開催しました。当日はスポーツ、アート、英会話等様々なジャンルでの体験活動、ステージ発表や学が場がつけられ、各回2,000人を超える来場がありました。

子どもたちは多くのブースをまわり、真剣なまなざしで各プログラムに取り組み、たくさんの笑顔を見ることができました。また、保護者も普段知らない育児に関する情報を知ることができ、子どもが集中して取り組む姿や意外なものに興味を持つ姿など、新たな発見をすることができる機会となり、子どもも保護者も満足度の高いイベントとなっています。

○コラボの効果

職業、立場、経験も異なるママパパの有志が集まり、ゼロから立ち上げたきたかみ子どもフェスタ。完全無償で北上の子どもたちのため、子育て世代のために運営を行っています。趣旨に賛同してくれる企業・事業者から協賛をいただき、多くの事業者がイベントに出展し、子どもたちにたくさんの体験を提供することができました。

周知においては市、教育委員会の協力により、小学校、保育園、幼稚園等にフライヤーの配布、市公式LINEで情報発信ができたことにより、より多くの子ども・保護者とつながることができました。

○今後の展開

安心して子どもを産むことができ、子育てを今以上に楽しいと感じられる北上市というイメージが市民、市外にも浸透することを目指していきたいと考えています。

きたかみ子どもフェスタが子育て世代に定着化し、毎年パワーアップしながら参加する子ども、ママパパがもっともっと楽しめるイベントを継続していきたいです。

このイベントが定着し、賛同していただける市民や事業者が増え、市民、行政、地域事業者が一体となって子どもたちの成長のために支援をしていく北上市になることを目指し、活動を続けていきます。